



米ニュージャージー州パリセイズ・パーク市の 慰安婦記念碑問題

古屋・山谷両議員から報告受ける

党領土に関する特命委員会

党領土に関する特命委員会（委員長・石破茂衆院議員）は5月15日、一昨年10月に「日本帝国政府の軍によって拉致された」などと書かれた慰安婦記念碑が設置された米ニュージャージー州のパリセイズ・パーク市を訪れ、同市に記念碑の撤去を求めた古屋圭司衆院議員と山谷えり子参院議員から報告を受けた。これを受け、同委員会は記念碑の早期撤去と碑文の内容が事実無根であることを証明し得る十分な資料を国内外に示すよう政府に求める決議を行い、17日政府に申し入れた。

他の米自治体に拡大する懸念も

同市を訪問したのは古屋、山谷両議員、竹本直一衆院議員、塚田一郎参院議員の4議員。7日（現地時間6日）、市役所で市長、副市长、市議会議長、図書館長と面談した。

一行は当時の新聞や米国ナショ

ナルアーカイブス（国立公文書記録管理局）が保管する客観的な資料を示しながら、「旧日本軍が韓国人女性を拉致し、慰安所へ強制連行した事実はない」と強く抗議、記念碑の撤去を求めたが、市側は一部の学者の主張を根拠に拒否。さらに帰国際、市議会議長は韓国系住民が多い22の自治体で同様の記念碑を設置する運動を行う意向を示した。

古屋議員はこうしたやりとりを報告したうえで、「まともな議論「このまま放置すれば大きな問題になる」と警鐘を鳴らす古屋圭司衆院議員（左から2人目）

政府は早期の撤去を求め歴史的根拠を内外に示せ

韓国系ロビーの働きかけで設置

ニューヨーク・マンハッタンから車で約30分走った距離に位置するパリセイズ・パーク市は人口約2万人。このうち韓国系住民が51・5%を占める。慰安婦記念碑は一昨年10月、韓国系のロビー団体の働きかけによって公立図書館の敷地に設置された。

記念碑には「1930年代から1945年までの間、日本帝

国政府の軍によって拉致された

にならなかた。モニュメントは小さく、放置すれば、大きな問題に発展する」と述べた。また、

山谷議員は「市長の両脇に韓国系の副市長と議長が座っており、市長に無言の圧力を加えているようだった」との印象を語った。

出席議員からは「現地の日本人学校の生徒がいじめられているという声も聞く。徹底的に実態を調査すべきだ」「外務省や在外公館

が重要な一つを止めるのが重要だ。そのためには、政府が客観的な事実とわが国の主張を示さなければならぬ」と語り、同委員会として、引き続き政府に働きかけていく方針を示した。

記者団に対し、「（全米に同様の記念碑が設置されないが、放置すればならない」と語り、同委員会として、引き続き政府に働きかけていく方針を示した。

のホームページに歴史事実を記した客観的な資料を掲載すべきだなどの意見が出された。

同委員会が行つた決議には韓国・ソウル市で昨年12月、日本大使館前に設置された「平和の碑少女像」の撤去などを盛り込んだ。

石破委員長、新藤義孝委員長代理らは17日、藤村修官房長官と玄葉光一郎外務大臣を訪ね、決議文を手渡すとともに、古屋・山谷両議員が同市とのやりとりを報告。政府として対応するよう求めた。

しかし、藤村官房長官は問題認識は共有している」と述べただけで、政府としてどのように取り組んでいくかについては言及を避けた。申し入れ後、新藤委員長代理は記者団に対し、「（全米に同様の記念碑が設置されないが、放置すればならぬ」と語り、同委員会として、引き続き政府に働きかけていく方針を示した。

いる。

党領土に関する特命委員会は今年2月の会合でこの問題を外務省に指摘したが、同省は何ら具体的な対策を講じていない。